

高等教育レベル カリキュラム

(グレード 11-12)

日本語

## 1. はじめに

日本語は人気のある外国語です。日本への留学を希望するネパールの学生の間では、日本語の学習需要が高まっています。このような背景から、ネパールの中高等教育レベルのカリキュラムでは、外国語としての日本語は選択科目となっています。日本語を話す人は1億3000万人以上で、世界で9番目に多く話されている言語です。日本以外では、さらに500万人の人々が、一定レベルの日本語を使って話しています。日本は、ネパールの学生にとって、高い教育を受けるための最も人気のある国の一つとなっています。以上のことから、日本語学習の必要性は非常に高まっています。そのため、日本語をカリキュラムに組み込むことは、日本語学習者のニーズを満たすための大きな一歩となるでしょう。さらに、ネパール政府がカリキュラムの一部として日本語を導入する主な意図は、学生に外国語でコミュニケーションを取ることに自信を持たせ、日本の大学で高い教育を受ける資格を得るための道筋を作ることにあります。グレード11からグレード12までの2年間の日本語コースでは、学生に基礎的な言語能力を身につけさせます。これは、日本での留学や就労に必要な語学試験に合格できるようにすることを目的としています。

カリキュラムの作成にあたっては、多くの要素が考慮されました。このコースでは、日本語と日本文化に関する実践的かつ理論的な知識という点で、ネパールの学生の要求を満たすことが期待されています。また、ネパールにあるさまざまな日本語教育機関や関連施設の代表者による議論や提案を取り入れたカリキュラム作成に重点が置かれています。ネパールの高等教育機関や中高等教育機関の学生の現状については、できる限り多くの問題点を考慮して慎重に記載しています。また、より読みやすくするために、イラストを交えて紹介するようにしました。このコースの目的は、日本の短期大学・大学の学士課程・大学院の修士課程への進学を希望するネパールの学生に、日本語・日本の社会と文化・その他必要な科目の予備教育を行うことです。

## 2. コンピテンシー

グレード12の修了までに、学生は以下のコンピテンシーを達成します。

1. 生活の中の日本語を聞いて、理解することができる。
2. 日常の事柄を扱っている短い話し言葉と録音された日本語の音声から重要な情報を抽出することができる。
3. 簡単な日常会話の日本語で会話をするすることができる。
4. 基本的な言語機能を使って、対応することができる。
5. 短い文章や簡単な読み物から必要な情報を理解し、抽出することができる。
6. 文章の主題と副題についての詳細を理解することができる。
7. 短くて簡単な文学作品を楽しみながら読むことができる。
8. 基本的な語彙を使いこなすことができる。
9. 簡単な日本語を使って、自分の気持ちや意見、経験などを書くことができる。
10. 情報やアイデアを口頭や書面で伝えることができる。
11. 社会生活に必要な簡単な日本語表現ができる。
12. 以下の漢字の読み書きと認識ができる。

|   |
|---|
| 朝、昼、晩、夜、夕、方、曜、週、去、春、夏、秋、冬、天、勉、強、研、究、院、質、問、題、試、験、答、教、室、<br>校、医、者、銀、空、港、病、駅、花、薬、屋、点、堂、会、社、工、場、図、館、主、兄、弟、姉、妹、犬、鳥、家、<br>族、自、体、頭、顔、首、声、重、軽、広、早、速、遅、近、遠、明、暗、短、暑、寒、低、太、忙、作、使、借、貸、<br>持、待、知、思、考、覚、忘、習、着、動、洗、英、画、写、真、旅、料、理、飯、野、菜、洋、服、文、化、品、物、<br>心、配、仕、事、用、意、注、味、説、明、発、表、運、転、授、業、産、有、特、別、赤、青、黒、茶、色、同、便、<br>利、悪、正、弱、冷、温、歌、走、歩、死、急、進、合、乗、降、引、押、願、困、終、送、返、光、林、森、池、台、<br>風、都、県、市、区、町、村、通、紙、地、様、集、始、起、建、開、閉、止、変、決、燃、売、続、消、落、焼、並、<br>回、度、員、代、不、以、内、最、無、全、部、民、和 |
|---|

13. 次の文法構造を正しく使用できる。

1. ます-形

ます-形 ながら  
ます-形 やすいです  
ます-形 にくいです  
おます-形 になります  
おます-形 ください  
おます-形 します

2. て-形

て-形 います  
て-形 いません  
て-形 しまいます  
て-形 あります  
て-形 おきます  
て-形 みます  
て-形 いただきます  
て-形 くださいます  
て-形 やります  
て-形 いただけませんか  
て-形 きます

3. ない-形

ない-形 ないで、  
ない-形 なく なります

4. 辞書形

辞書形 な  
辞書形 ようになります  
辞書形 のは  
辞書形 のが  
辞書形 のを

辞書形 ために、  
辞書形 のに

5. た-形

た-形 あとで、  
た-形 ばかりです

6. 意向形

意向形と おもって います

7. 辞書形 + つもりです

ない-形 ない + つもりです  
辞書形 + ように  
ない-形 ない + ように  
辞書形 + ようにします  
ない-形 ない + ようにします

8. 辞書形 + ところです

て-形 いる+ ところです  
た-形 + ところです

9. た-形 + ほうがいいです

ない-形 ない + ほうがいいです

10. て形—

ない-形 ないで

11. 普通形

普通形 + し、—  
普通形 + と 言って いました  
普通形 + そうです

動詞の普通形 + のを

動詞の普通形 + でしょう

い形容詞の普通形 + でしょう

な-形容詞の普通形 -だ + でしょう

名詞の普通形 -だ + でしょう

動詞の普通形 + かもしれません

い形容詞の普通形 + かもしれません

な-形容詞の普通形 -だ + かもしれません

名詞の普通形だ + かもしれません

動詞の普通形 + か、

い形容詞の普通形 + か、

な-形容詞の普通形 -だ + か、

名詞の普通形 -だ + か、

動詞の普通形 +か どうか、

い形容詞の普通形 +か どうか、

な-形容詞の普通形 -だ + か どうか、

名詞の普通形 -だ + か どうか、

動詞の普通形 + ん です

い形容詞の普通形 + ん です

な-形容詞の普通形 -だ -な + んです

名詞の普通形 -だ -な + んです

動詞の普通形 +ので、—

い形容詞の普通形 + ので、—

な-形容詞の普通形 -だ -な + ので、—

名詞の普通形 -だ -な + ので、—

動詞の普通形 + のに、—  
い形容詞の普通形 + のに、—  
な-形容詞の普通形 -だ -な + のに、—  
名詞の普通形 -だ -な + のに、—

動詞の普通形 + のは、—  
い形容詞の普通形 + のは、—  
な-形容詞の普通形 -だ -な + のは、—  
名詞の普通形 -だ -な + のは、—

動詞の普通形 + ようです  
い形容詞の普通形 + ようです  
な-形容詞の普通形 -だ -な + ようです  
名詞の普通形 -だ -の + ようです

12. 動詞のます-形 + そうです  
い形容詞 (い) + そうです  
な形容詞 (な) + そうです  
動詞のます-形 + すぎます  
い形容詞 (い) + すぎます  
な形容詞 (な) + すぎます

13. 動詞のて-形  
ない-形 なくて、  
い-形容詞 くて、  
な-形容詞 で、  
名詞 で、

14. 動詞の辞書形 + よていです  
名詞 + の + よていです

15. 辞書形 + とおりに、—  
た-形 + とおりに、—  
名詞 + の + とおりに、—

16. 辞書形 + ばあいは、  
た-形 + ばあいは、  
ない-形 + ばあいは、  
い形容詞 + ばあいは、  
な形容詞 + な + ばあいは、  
名詞 + の + ばあいは、

17. 辞書形 + はずです  
ない形 + はずです  
い形容詞 + はずです  
な形容詞 + な + はずです  
名詞 + の + はずです



### 3. グレードごとの学習成果

#### 3.1. 聴解

##### グレード11-12

1. 上級レベルの会話を聞いて理解することができる。
2. 先生、クラスメート、友達が話す言葉や内容を理解することができる。
3. 上級レベルのフォーマルで複雑な命令に反応することができる。
4. 複数の文章や上級レベルの文法の質問に答えることができる。
5. 先生や音声に対して、口頭または非口頭で答えることができる。
6. ネイティブのスピーカーが話す上級レベルの単語や文章を理解することができる。
7. 質問の内容を理解し、正しく答えることができる。
8. 使用されている上級レベルの漢字が正しいかどうかを判断することができる。
9. 様々な歌や物語を聞き、理解することができる。
10. 長くて複雑なメッセージを聞くことができる。

#### 3.2. 会話

##### グレード11-12

1. 教室内で使う挨拶と用語を使用して、目上の人や他の人に挨拶をすることができる。
2. 一般的な数え方（軒数、服の数、動物の数、靴の数など）ができる。
3. 正しい文法構造を使用して、様々な問題について理由の説明をしたり、質問したりできる。
4. 特定の人、場所、長所と短所に関する事柄について情報を伝えることができる。
5. 動詞を可能形に変換して、自分の能力（できること、できないこと）を表現することができる。
6. いろいろな物事を見ながら、現状を報告したり、説明したりできる。
7. 自分の考え、願望、スケジュール、計画を表現することができる。
8. 問題に対して、他の人に提案することができる。
9. 様々な行動や状況の可能性について話すことができる。
10. 人から受けた伝言を第三者に伝えることができる。
11. 仮定「もし」の条件を表現することができる。
12. 学習した文法を正しく活用することができる。
13. 気持ちや感情を表現することができる。

14. 実行した特定の行動の理由と原因について説明することができる。
15. 事実や真実を表現することができる。
16. 目上の人、尊敬する人、高い地位の人からもらった物について表現することができる。
17. 様々な種類の行動と状況を確認することができる。
18. 様々な状況を見ながらその様子を説明または推測することができる。
19. 特定の目的を達成するために行っている、または行った努力を表現することができる。
20. 様々な生物と無生物の有用性を表現することができる。
21. 特定の仕事または行動を実行するためにかかる費用と時間について教えることができる。
22. 様々な状況の仮定条件を説明することができる。
23. 実行された特定の物事の予期しない結果について説明することができる。
24. 特定の仕事や行動の程度を表現することができる。
25. 様々な問題、仕事、行動について決定することができる。
26. 周囲を見ながら何が起きているのか、何が起こるのかを推測することができる。
27. やろうとしていること、やっていること、やったばかりのことの状況について説明することができる。
28. 年下または低い地位の人へ、特定の行動を実行するように命令することができる。
29. 起こらなければならない物事を説明することができる。
30. 尊敬語を使用して、目上の人に話しかけることができる。
31. 目上の人への質問に対して謙譲に答えることができる。

### 3.3. 読解

#### グレード 11-12

1. 学習した漢字と送りがなを読むことができる。
2. 文章をつなぎ合わせて、長い文章を作ることができる。
3. 長い文章を正しく読み、理解することができる。
4. 物語や手紙など、さまざまな種類の読み物を理解することができる。
5. 長い文章を読んで特定の情報を取得することができる。
6. 文脈から知らない言葉の意味を推測することができる。
7. グラフ、表、地図などのテキストから必要な情報を取得することができる。
8. 上級レベルの説明を読むことができる。
9. 接尾辞と接頭辞が付いた単語を読むことができる。
10. より流暢で迅速に文章を読むことができる。

### 3.4. 筆記

#### グレード11-12

1. 正しい筆順に沿って、正しく漢字を書くことができる。
2. 異なる文字を組み合わせて単語を作り、その単語を正しい順序で並べて簡単な文章を作ることができる。
3. 上級レベルの文法を使用して、個人情報に関する詳細を書くことができる。
4. 口述した単語、文章を書くことができる。
5. 句読点を正しく使うことができる。
6. 記載された文法形式を正しく使って文章を作ることができる。
7. 簡単な接続詞を使って、文章をつなげることができる。
8. 自分、人、場所、物事について文章（パラグラフ）を書くことができる。
9. 公的なメッセージ、手紙、文章を書くことができる。

## 4 内容の範囲と順序

### 4.1. グレード 11

| 内容  | 内容の詳細   | 内容の推敲   | 学習方法                                      | 時間    |   |   |   |
|---|---|---|---|-------|---|---|---|
| 1. 教室の言葉  | 挨拶の言葉   | -上級レベルの教室や日常生活で使われる挨拶や言葉<br>(例：いただきます、ごちそうさまでした、ごめんください、もうしわけありません など)  | -会話<br>-挨拶<br>-ロールプレイ<br>-歌               | 3 時間  |   |   |   |
| 2. 数字と数え方   | 数え方   | -軒数の数え方 (例：一軒、二軒、三軒 など)<br>-服の数の数え方 (例：一着、二着、三着 など)<br>-動物の数え方 (例：一匹、二匹、三匹、など)<br>-靴の数え方 (例：一足、二足、三足、など)  | -ゲーム<br>-質問と回答<br>-ロールプレイ<br>-会話<br>-個人作業 | 2 時間  |   |   |   |
| 3. フォーマルでない形  | 普通形   | -動詞、形容詞、名詞の普通形の復習<br>-動詞、形容詞、名詞の丁寧形から普通形への変換：   | -ロールプレイ<br>-ペアワーク<br>-会話<br>-質問と回答<br>-練習 | 10 時間 |   |   |   |
|   |   | <table border="1"> <tr> <td> <b>動詞</b><br/>           ます-辞書形<br/>           ません-ない-形<br/>           ました-た-形<br/>           ませんでした-なかった-形         </td> <td> <b>い形容詞</b><br/>           暑いです-暑い<br/>           暑くないです-暑くない<br/>           暑かったです-暑かった<br/>           暑くなかったです-暑くなかった         </td> </tr> <tr> <td> <b>な形容詞</b><br/>           です-だ<br/>           では/じゃありません-では/じゃない<br/>           でした-だった<br/>           では/じゃありませんでした-では/じゃなかった         </td> <td> <b>名詞</b><br/>           です-だ<br/>           では/じゃありません-では/じゃない<br/>           でした-だった<br/>           では/じゃありませんでした-では/じゃなかった         </td> </tr> </table> |   |       | <b>動詞</b><br>ます-辞書形<br>ません-ない-形<br>ました-た-形<br>ませんでした-なかった-形 | <b>い形容詞</b><br>暑いです-暑い<br>暑くないです-暑くない<br>暑かったです-暑かった<br>暑くなかったです-暑くなかった | <b>な形容詞</b><br>です-だ<br>では/じゃありません-では/じゃない<br>でした-だった<br>では/じゃありませんでした-では/じゃなかった |
|   | <b>動詞</b><br>ます-辞書形<br>ません-ない-形<br>ました-た-形<br>ませんでした-なかった-形                   | <b>い形容詞</b><br>暑いです-暑い<br>暑くないです-暑くない<br>暑かったです-暑かった<br>暑くなかったです-暑くなかった   |   |       |   |   |   |
| <b>な形容詞</b><br>です-だ<br>では/じゃありません-では/じゃない<br>でした-だった<br>では/じゃありませんでした-では/じゃなかった | <b>名詞</b><br>です-だ<br>では/じゃありません-では/じゃない<br>でした-だった<br>では/じゃありませんでした-では/じゃなかった |   |   |       |   |   |   |
| 漢字  | 朝、昼、晩、夜、夕、方、曜、週、去、春、夏、秋、冬、天   |   |   |       |   |   |   |

|             |      |  |   |       |
|-------------|------|--|---|-------|
| 4. 理由と提案の要求 |      | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「普通形 + んです」文法形式の紹介<br/>(例: 日本へ行くんです。ご飯を食べたいんです。など)</li> <li>- 「どうして - んですか。」文法形式を使って理由を質問<br/>(例: どうして遅れたんですか。どうして行くんですか。など)</li> <li>- 「普通形 + んですが、動詞のて-形 いただけませんか。」文法形式の紹介<br/>(例: 日本語が分からないんですが、教えていただけませんか。など)</li> <li>- 「普通形 + んですが、動詞たら いいですか。」文法形式の紹介<br/>(例: 日本へ行きたいんですか、どうしたらいいですか。など)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>- ロールプレイ</li> <li>- ペアワーク</li> <li>- 質問と回答</li> <li>- 会話</li> <li>- 要求の練習</li> </ul>   | 10 時間 |
|             | 文法   | <p>動詞の普通形 + んです<br/>ます-辞書形<br/>ません-ない形<br/>ました-た形<br/>ませんでした-なかった形</p> <p>な形容詞の普通形 + んです<br/>*です -た なんです。<br/>では/じゃありません-では/じゃない<br/>でした-だった<br/>では/じゃありませんでした-では/じゃなかった</p>   | <p>い形容詞の普通形 + んです<br/>暑いです-暑い<br/>暑くないです-暑くない<br/>暑かったです-暑かった<br/>暑くなかったです-暑くなかった</p> <p>名詞の普通形 + んです<br/>*です -た なんです。<br/>では/じゃありません-では/じゃない<br/>でした-だった<br/>では/じゃありませんでした-では/じゃなかった</p> |       |
| 5. 情報       | 情報提供 | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「ます-形 + ながら」文法形式の紹介</li> <li>- 複数の行動の情報提供。<br/>(例: テレビを見ながら、ご飯を食べます。など)</li> <li>- 「普通形 + し、普通形 + し形」文法形式の紹介</li> <li>- 「も + -し、も + し形」を使った、物事の説明<br/>(例: ここは広いし、静かだし、それに安いです。ここは家賃も安いし、デザインも素敵だし、それに便利です。など)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>- ロールプレイ</li> <li>- ペアワーク</li> <li>- 会話</li> <li>- 質問と回答</li> </ul>  | 10 時間 |
|             | 文法   | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 動詞-辞書形 + し、い形容詞-普通形 + し、な形容詞-な形容詞 + だ + し</li> <li>- 動詞 ます-形 + ながら</li> </ul>   |   |       |
|             | 漢字   | 勉、強、研、究、院、質、問、題、試、験、答、教、室、校、医、者  |   |       |
| 6. 能力表現     | 可能形  | - それぞれの動詞グループを可能形に変換して話す   |   | 10 時間 |
|             | 文法   | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「可能形」文法形式の紹介<br/>(例: 行けます、食べられます、できます など)</li> <li>- それぞれの動詞グループの可能形に変換</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>- ロールプレイ</li> <li>- ペアワーク</li> <li>- 質問と回答</li> <li>- 会話</li> </ul>  |       |

|          |  | グループ I   | グループ II               | グループ III           |  |       |
|----------|--|--|-----------------------|--------------------|--|-------|
|          |  | 買うー買える<br>行くー行ける   | 食べるー食べられる<br>いますーいられる | するーできる<br>来るー来られる  |  |       |
| 7. 状況の報告 | 他動詞と自動詞  | -動詞の自動詞と他動詞の分類<br>-「自動詞のて-形 + います。」文法形式の紹介<br>(例: 窓が開いています。電気がついています。など)<br>-「動詞のて-形 + あります。」文法形式の紹介<br>(例: カレンダーに今月の予定が書いてあります。冷蔵庫の横にノートが貼ってあります。など)                          |                       |                    | -ロールプレイ<br>-ペアワーク<br>-質問と回答<br>-報告<br>-会話  | 12 時間 |
|          | 漢字   | 銀、空、港、病、駅、花、薬、屋、点、堂、会、社、工、場、図、館  |                       |                    |  |       |
| 8. 出来事   |  | -「動詞のて-形 + しまいます/しまいました。」文法形式を使用して、不特定な出来事と完了した内容を話す<br>(例: もう宿題を書いてしまいました。パソコンを壊してしまいました。これから仕事をやってしまいます。など)<br>-「動詞のて-形 + おきます。」文法形式の紹介<br>(例: 晩ご飯を作っておきます。プレゼントを買っておきます。など) |                       |                    | -会話<br>-ロールプレイ<br>-質問と回答<br>-ペアワーク         | 10 時間 |
| 9. 意向    | 意向形  | -「意向形」文法形式の紹介<br>-意向形と辞書形を使用して、自分の考え、意向、スケジュールを表現<br>(例: 日本へ行こうと思っています。今日は会議をする予定です。今日学校へ行かないつもりです。など)   |                       |                    | -会話<br>-ロールプレイ<br>-質問と回答<br>-ペアワーク<br>-ドリル | 15 時間 |
|          | 文法   | -それぞれの動詞グループの意向形に変換:   |                       |                    |  |       |
|          |  | グループ I   | グループ II               | グループ III           |  |       |
|          |  | 行くー行こう<br>買うー買おう   | 食べるー食べよう<br>覚えるー覚えよう  | しますーしよう<br>来ますー来よう |  |       |
|          | -「意向形 + と思っています。」文法形式の紹介<br>(例: 結婚しようと思っています。など)<br>-「辞書形 + つもりです」と「ない-形 + つもりです。」文法形式の紹介。<br>(例: ネパールに住むつもりです。留学しないつもりです。など)<br>-「辞書形 + 予定です」「ない-形 + 予定です」「名詞 + の予定です」文法形式の紹介<br>(例: 来週ポカラへ行く予定です。今日の会議に参加しない予定です。今日はピクニックの予定です。など) |  |                       |                    |  |       |
| 漢字       | 主、兄、弟、姉、妹、犬、鳥、家、族、自、体、頭、顔、首、声  |  |                       |                    |  |       |

| 10. 提案と可能性      |                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「動詞のた-形/ない-形 + ほうがいいです。」文法形式を使用して、様々な問題についての解決を提案<br/>(例: 勉強したほうがいいです。たばこを吸わないほうがいいです。など)</li> <li>- 「普通形 + かもしれません。」文法形式を使用して、特定の行動の可能性を話す<br/>(例: 今日雨が降るかもしれません。サリタさんは今日学校へ来るかもしれません。など)</li> <li>- 「普通形 + でしょう」文法形式を使用して、何かが発生するかどうかを確認<br/>(例: 今日試験があるでしょう。明日は休みでしょう。など)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>- ロールプレイ</li> <li>- ペアワーク</li> <li>- 会話</li> <li>- 練習</li> <li>- 質問と回答</li> </ul> | 8 時間    |          |                 |                     |                 |  |       |
|-----------------|---------------------|---|--|---------|----------|-----------------|---------------------|-----------------|--|-------|
| 11. 案内と意思決定     | アドバイス               | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「た-形 + とおりに」文法形式を使用して、人に指示<br/>(例: 私が言った通りに言ってください。図の通りに折ってください。説明の通りにしてください。など)</li> <li>- 「た-形 + あとで」と「名詞 + のあとで」文法形式の紹介<br/>(例: 試験が終わった後で旅行に行きます。会議の後で食事します。など)</li> <li>- 「動詞 1 のて-形 + 動詞 2/動詞 1 のない-形 + で 動詞 2」文法形式を使用して、物事を説明<br/>(例: ご飯を食べて会社へ行きます。傘を持たないで出かけます。など)</li> <li>- 「動詞のないうで-形 + 文。」文法形式を使用して、物事を説明<br/>(例: 学校へ行かないで遊びに行きます。など)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>- ロールプレイ</li> <li>- ペアワーク</li> <li>- 会話</li> <li>- 練習</li> <li>- 質問と回答</li> </ul> | 10 時間   |          |                 |                     |                 |  |       |
|                 | 漢字                  | 重、軽、広、早、速、遅、近、遠、明、暗、短、暑、寒、低、太、忙   |  |         |          |                 |                     |                 |  |       |
| 12. 伝言の伝達       | 報告                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「普通形 + といっていました。」文法形式の紹介<br/>(例: サパナさんは今日休むと言っていました。先生は今日病気だと言っていました。など)</li> <li>- 「普通形 + と伝えていただけませんか。」文法形式を使用して、メッセージを他の人に伝えるように依頼<br/>(例: 先生に 10 分ぐらい遅れると伝えていただけませんか。など)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>- ロールプレイ</li> <li>- ペアワーク</li> <li>- 会話</li> <li>- 練習</li> <li>- 質問と回答</li> </ul> | 5 時間    |          |                 |                     |                 |  |       |
| 13. 命令          | フォーマルでない形の命令<br>文法  | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「命令形」と「禁止形」文法形式の紹介</li> <li>- それぞれの動詞グループの命令形と禁止形に変換:</li> </ul> <table border="1" data-bbox="478 1161 1493 1274" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">グループ I</th> <th style="width: 33%;">グループ II</th> <th style="width: 33%;">グループ III</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行く-行け<br/>行く-行くな</td> <td>食べる-食べろ<br/>食べる-食べるな</td> <td>する-しろ<br/>する-するな</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「命令形」と「禁止形」の文法形式を使用して、年下の人へ命令、様々な規則やルールの説明</li> <li>- 標識の理解<br/>(例: 速くしろ。止まれと言う意味です。走るなど書いてあります。など)</li> </ul> | グループ I   | グループ II | グループ III | 行く-行け<br>行く-行くな | 食べる-食べろ<br>食べる-食べるな | する-しろ<br>する-するな | <ul style="list-style-type: none"> <li>- ロールプレイ</li> <li>- ペアワーク</li> <li>- 会話</li> <li>- 練習</li> <li>- 質問と回答</li> </ul> | 10 時間 |
| グループ I          | グループ II             | グループ III  |  |         |          |                 |                     |                 |  |       |
| 行く-行け<br>行く-行くな | 食べる-食べろ<br>食べる-食べるな | する-しろ<br>する-するな   |  |         |          |                 |                     |                 |  |       |

|             |         |  |  |        |          |
|-------------|---------|--|--|--------|----------|
| 14. 確信      |         | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「-ように」文法形式を使用して、他の人の行動を確認</li> <li>- 「辞書形/ない-形 + ように」文法形式の紹介<br/>(例: 日本語で書けるように、勉強します。物がなくならないように、しまっておきます。など)</li> <li>- 「辞書形 + ようになりました。」文法形式の紹介<br/>(例: 日本語が話せるようになりました。など)</li> <li>- 「辞書形/ない-形 + ようにしています。」文法形式の紹介<br/>(例: 朝は早く起きるようにしています。できるだけお酒を飲まないようにしています。など)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>- ロールプレイ</li> <li>- ペアワーク</li> <li>- 会話</li> <li>- 練習</li> <li>- 質問と回答</li> </ul> | 10 時間  |          |
|             | 漢字      | 作、使、借、貸、持、待、知、思、考、覚、忘、習、着、動、洗  |  |        |          |
| 15. 状況      | 仮定「もし」  | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 様々なアクションを実行しながら状態について学習</li> <li>- 「えば-形」文法形式の紹介</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>- ロールプレイ</li> <li>- ペアワーク</li> <li>- 会話</li> <li>- 練習</li> <li>- 質問と回答</li> </ul> | 12 時間  |          |
|             | 文法      | - それぞれの動詞、形容詞、名詞グループを「えば-形」に変換:  |  |        |          |
|             |         | グループ I   | グループ II  |        | グループ III |
|             |         | 会う-会えば   | 食べます-食べれば  |        | します-すれば  |
|             |         | い形容詞   | な形容詞   |        | 名詞       |
|             | 暑い-暑ければ | 暇-暇なら  | 雨-雨なら  |        |          |
| 16. 受身      |         | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「受身形」文法形式の紹介</li> <li>- 「受身形」を使用して、様々な物事について話し、説明</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>- ロールプレイ</li> <li>- ペアワーク</li> <li>- 会話</li> <li>- 練習</li> <li>- 質問と回答</li> </ul> | 15 時間  |          |
|             | 文法      | - それぞれの動詞グループの受身形に変換:  |  |        |          |
|             |         | グループ I   | グループ II  |        | グループ III |
|             | 言う-言われる | ほめる-ほめられる  | 来ます-来られる   |        |          |
| 17. 作文      | 自由記述    | - 学習した文法形式と語彙を使った、様々なトピックについての作文   | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 筆記</li> <li>- 個人作業</li> </ul>   | 5 時間   |          |
| <b>学期試験</b> |         |  |  | 3 時間   |          |
| <b>合計</b>   |         |  |  | 160 時間 |          |



## 4.2. グレード 12

| 内容             | 内容の詳細 | 内容の推敲  | 学習方法  | 時間    |
|----------------|-------|--|---|-------|
| 1. 理由          |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「名詞 + で」の文法形式を使用して、理由を説明<br/>(例：地震で人が大勢死にました。病気で休みました。事故で学校に遅れました。など)</li> <li>- 「普通形 + ので」文法形式を使用して、理由を説明<br/>(例：国へ帰るので学校を休みます。忙しいので宿題をしません。<br/>*暇なのでダンスをしています。*休みなので寝ていました。など)</li> <li>- 「動詞のて-形 + 気持ちを表現する言葉」文法形式を使用して、感情や気持ちの表現<br/>(例：手紙を読んで安心しました。家族に会えてうれしいです。友達がなくて寂しいです。など)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 会話</li> <li>- ロールプレイ</li> <li>- 文章を作る</li> <li>- 質問と回答</li> <li>- ペアワーク</li> </ul> | 10 時間 |
|                | 漢字    | 英、画、写、真、旅、料、理、飯、野、菜、洋、服、文、化、品、物  |   |       |
| 2. 述べる         |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「辞書形 + のは/のが/のを」と「普通形 + のを 知っていますか」の文法形式を使用して事柄や事実を話す<br/>(例：日本語を勉強するのは楽しいです。私は歌を歌うのが好きです。お金を持ってくるのを忘れました。明日休みがあるのを知っていますか。父が生まれたのはカトマンズの小さなむらです。など)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 会話</li> <li>- ロールプレイ</li> <li>- 質問と回答</li> <li>- 練習</li> <li>- ペアワーク</li> </ul>    | 10 時間 |
| 3. 物をもったり、あげたり |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 目上の人や尊敬する人からもらった物について話す時に使う「くれました」と「もらいました」の尊敬語<br/>(例：社長が本をくださいました。先生にお年玉をいただきました。先生に宿題を確認して頂きました。部長が仕事を教えてくださいました。など)</li> <li>- 「やります」を使用して、年下の人にあげる物事を話す学習<br/>(例：まごにお菓子をやります。息子の宿題を見てやります。など)</li> </ul>   |   |       |
|                | 漢字    | 心、配、仕、事、用、意、注、味、説、明、発、表、運、転、授、業、産  |   |       |
| 4. 物事の確認       |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「普通形 + か」「普通形 + かどうか」「動詞のて-形 + みます」文法形式を使用して、様々なことの確認<br/>(例：この答えが正しいか確認してください。会議室が使えるかどうか先生に聞いてきて。このズボン、サイズが合うかどうかをちょっとはいてみます。など)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>- ロールプレイ</li> <li>- 会話</li> <li>- 質問と回答</li> <li>- ペアワーク</li> </ul>                  | 10 時間 |
|                |       |  |   |       |

|          |    |  |   |       |
|----------|----|--|---|-------|
| 5. 状況の推測 | 推測 | - 「そうです」文法形式を使用して、状況を見て様々なことを推測  | - 会話<br>- ロールプレイ<br>- 文章を作る<br>- 質問と回答<br>- ペアワーク | 10 時間 |
|          | 文法 | - 「普通形 + うんですが、動詞のて-形 いただけませんか」文法形式の紹介<br>(例: 日本語が分からないんですが、教えていただけませんか。など)<br>- 「自動詞のます-形 + そうです」文法形式の紹介<br>(例: 雨が降りそうです。荷物が落ちそうです。火が消えそうです。など)<br>- 「い形容詞 + そうです」「な形容詞 + そうです」文法形式の紹介<br>(例: このカレーは美味しそうです。スケジュールがきつそうです。サパナさんは暇そうです。など)<br>- 「動詞のて-形 + 来ます」文法形式の紹介<br>(例: 買い物をして来ます。朝ごはんを食べてきます。など)           |   |       |
|          | 漢字 | 有、特、別、赤、青、黒、茶、色、同、便、利、悪、正、弱、冷、温  |   |       |
| 6. 目的    | 目的 | - 特定の目的を達成するために行っている努力を表現するために使用する「辞書形 + ために」「名詞+に」文法形式の紹介<br>(例: 日本へ行くために日本語を勉強しています。家族のために働いています。など)<br>- 様々なことの有用性を説明するために使用する「辞書形 + のに」「名詞 + に」文法形式の紹介<br>(例: このかばんはパソコンを入れるのに使います。クレジットカードは旅行に便利です。など)<br>- 何かをするのにかかる費用と時間を説明するために使用する「辞書形 + のに」「名詞 + に」文法形式の紹介<br>(例: 家を建てるのに2年かかりました。引越しに200万円かかりました。など) | - 会話<br>- ロールプレイ<br>- 文章を作る<br>- 質問と回答<br>- ペアワーク | 10 時間 |
| 7. 仮定条件  | 場合 | - 「場合は」「のに」文法形式を使用して、状況の仮定の条件の表現<br>- 状況を説明するために使用する「動詞の普通形 + 場合は」文法形式の紹介<br>(例: 学校に遅れる場合は連絡してください。事故があった場合はすぐ警察を呼んでください。など)<br>- 「い形容詞 + 場合は」「な形容詞 + な + 場合は」「名詞 + の場合は」文法形式の紹介<br>(例: 暑い場合はエアコンをつけてください。暇な場合は家の仕事をしてください。今晩会議の場合は遊びに行けません。など)<br>- 特定の物事の予期しない結果について説明するために使用する「普通形 + のに」文法形式の紹介               | - 会話<br>- ロールプレイ<br>- 文章を作る<br>- 質問と回答<br>- ペアワーク | 10 時間 |

|             |    |  |   |       |
|-------------|----|--|---|-------|
|             |    | (例：たくさん漢字を練習したのに試験に落ちました。料理がおいしくないのに値段が高いです。ラムさんは料理が上手なのに料理をしません。今日は休みなのに学校へ行かなければならない。など)   |   |       |
| 8. 物事の程度を表現 |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「動詞のます-形 + すぎます/すぎました」「い形容詞 い + すぎます」「な形容詞 + すぎます」文法形式を使用して、特定の行動の程度を表現</li> <li>- 「動詞のます-形 + やすい/動詞のます-形 + にくい」文法形式を使用して、特定の行動を分類</li> <li>- 「動詞のます-形 + すぎます」文法形式の紹介<br/>(例：昨日の夜お酒を飲みすぎました。日本の夏は暑すぎます。日本語の文法は複雑すぎます。など)</li> <li>- 「動詞のます-形 + やすい/にくいです」文法形式の紹介<br/>(例：この薬は飲みやすいです。経験があるから仕事をしやすいです。読解の内容は分かりにくいです。など)</li> <li>- 「い形容詞 -くします」「な形容詞/名詞 + にします」文法形式を使用して、物事を決定<br/>(例：髪を短くします。暇ですから部屋をきれいにします。今晚の料理はカレーライスにします。など)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 会話</li> <li>- ロールプレイ</li> <li>- 文章を作る</li> <li>- 質問と回答</li> <li>- ペアワーク</li> </ul> | 10 時間 |
| 9. 推測       |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「普通形 + そうです」文法形式を使用して、推測を話す</li> <li>- 「普通形 + ようです」文法形式を使用して、周囲のヒントを取り入れて推測</li> <li>- 「普通形 + はずです」文法形式を使用して、起こらなければならない物事を話す</li> <li>- 「普通形 + そうです」文法形式の紹介<br/>(例：天気予報によると今日雨が降るそうです。チトワンは暑いそうです。社長は暇だそうです。など)</li> <li>- 「普通形 + ようです」文法形式の紹介<br/>(例：コンサートが始まるようです。となりの部屋に誰がいるようです。サリタさんはチョコレートが好きようです。その話本当のようです。など)</li> <li>- 「普通形 + はずです」文法形式の紹介<br/>(例：アレックスさんはお酒を飲まないはずです。先生は歌が上手なはずです。彼女は今日留守のはずです。など)</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 会話</li> <li>- ロールプレイ</li> <li>- 文章を作る</li> <li>- 質問と回答</li> <li>- ペアワーク</li> </ul> | 15 時間 |
|             | 漢字 | 光、林、森、池、台、風、都、県、市、区、町、村、通、紙、地、様  |   |       |
| 10. 特定の瞬間   |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「ところでは」「ばかりです」文法形式を使用して、自分がしていることややり終えたばかりのことを話す</li> <li>- 特定の行動の瞬間を伝えるために使用する「辞書形 + ところ」「動詞のている-形 + ところ」「動詞のた-形 + ところ」文法形式の紹介</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 会話</li> <li>- ロールプレイ</li> <li>- 文章を作る</li> <li>- 質問と回答</li> <li>- ペアワーク</li> </ul> | 10 時間 |

|        |                                       |  |                          |                     |  |       |
|--------|---------------------------------------|--|--------------------------|---------------------|--|-------|
|        |                                       | <p>(例：ちょうどこれからご飯を食べるところです。今宿題を書いているところです。たった今会議が終わったところです。など)</p> <p>-特定の行動から経過した時間の長さを説明するために使用する「動詞のた-形 + ばかり」文法形式の紹介</p> <p>(例：さっき起きたばかりですから何も食べていません。日本へ来たばかりの頃はとても大変だった。去年結婚したばかりです。など)</p> |                          |                     |  |       |
|        | 漢字                                    | 集、始、起、建、開、閉、止、変、決、燃、売、続、消、落、焼、並  |                          |                     |  |       |
| 11. 使役 | 物事を行わせる                               | -使役動詞を使って、年下や地位の低い人に仕事を指示  |                          |                     | -会話<br>-ロールプレイ<br>-文章を作る<br>-質問と回答<br>-ペアワーク | 20 時間 |
|        | 文法                                    | グループ I   | グループ II                  | グループ III            |  |       |
|        |                                       | 行く-行かせる  | 食べる-食べさせる                | する-させる<br>来る-来させる   |  |       |
|        | 漢字                                    | (例：私は子どもに料理を作らせました。社長はミラーさんをアメリカへ出張させました。土曜日に学生を学校へ来させました。など)  |                          |                     |  |       |
|        | 漢字                                    | 回、度、員、代、不、以、内、最、無、全、部、民、和  |                          |                     |  |       |
| 12. 敬語 | 尊敬語                                   | -目上の人に尊敬を示すために使用する敬語   |                          |                     | -会話<br>-ロールプレイ<br>-文章を作る<br>-質問と回答<br>-ペアワーク | 30 時間 |
|        |                                       | -それぞれの動詞グループの尊敬語に変換：   |                          |                     |  |       |
|        |                                       | グループ I   | グループ II                  | グループ III            |  |       |
|        |                                       | 行く-行かれる<br>読む-読まれる   | かける-かけられる<br>降りる-降りられる   | 来ます-来られる<br>します-される |  |       |
|        |                                       | -上記の変換された動詞の他、人への敬意を示すために多くの特別な不規則動詞の使用例：  |                          |                     |  |       |
|        |                                       | 行く<br>食べる<br>言う  | いらっしゃる<br>召し上がる<br>おっしゃる |                     |  |       |
|        |                                       | -「お動詞のます-形 + になります」文法形式の紹介   |                          |                     |  |       |
|        | (例：社長はお出かけになりました。先生はもうお帰りになりました。など)   |  |                          |                     |  |       |
|        | -「お動詞のます-形 + ください」「ご名詞 + ください」文法形式の紹介 |  |                          |                     |  |       |
|        | (例：どうぞおかけください。いつでもご連絡ください。など)         |  |                          |                     |  |       |
| 謙譲語    | -目上の人に尋ねられた質問に謙虚に答えるために使用する敬語         |  |                          |                     |  |       |
|        | -それぞれの動詞グループの謙譲語に変換：                  |  |                          |                     |  |       |
|        | グループ I                                | グループ II  | グループ III                 |                     |  |       |
|        | 行く-参る<br>言う-申す                        | 食べる-頂く<br>見る-拝見する  | する-いたす<br>来る-参る          |                     |  |       |

|             |      |  |              |               |
|-------------|------|--|--------------|---------------|
|             |      | -「お動詞のます-形 + します」文法形式の紹介<br>(例：私がコーヒーをお入れします。私が手紙をお送りします。など) |              |               |
|             |      | -「ご名詞 + します」文法形式の紹介<br>(例：皆さんに私がご説明します。明日皆さんにご連絡します。など)      |              |               |
| 13. 作文      | 自由記述 | -家族、友人、教師にさまざまな状況、出来事など様々なトピックについて説明する作文                     | -筆記<br>-個人作業 | 2 時間          |
| <b>学期試験</b> |      |  |              | <b>3 時間</b>   |
| <b>合計</b>   |      |  |              | <b>160 時間</b> |

## 5. 学習促進

学習を促進するプロセスは、カリキュラムの不可欠な部分です。これにより、有意義な学習が保証されます。ファシリテーションを行う際には、教師は様々な教育学習方法を用いるべきであり、それによって教師はカリキュラムを実施することができます。とりわけ、日本語の学習は日本語を使って教えるべきです。しかし、文法を説明する際には、できる限り簡単な日本語や英語を使うことをお勧めします。翻訳は、本当に必要な場合にのみ使用してください。

### 5.1. 学習促進の原則

- ・ 簡単なものから複雑なものまでを行う
- ・ 口頭から筆記まで行う
- ・ 練習とドリルを用いる
- ・ 自然な学習順序で行う
- ・ マルチ技術でアプローチを行う
- ・ 真似させる
- ・ 学生のモチベーションを維持する
- ・ 正確に行う
- ・ 文脈を理解させる

## 5.2. 学習方法

上記の教育原理に基づいて、カリキュラムを全て行うには、次の方法とテクニックをご利用ください。

- ・ ペアワーク
- ・ 筆記
- ・ ロールプレイ
- ・ 物語
- ・ 報告
- ・ 歌
- ・ 議論
- ・ 辞書の使用
- ・ ゲーム
- ・ 絵カード/フラッシュカードの使用
- ・ 音読
- ・ 黙読
- ・ ブレインストーミング
- ・ 自由記述
- ・ ガイド付きの筆記
- ・ パズル
- ・ 手書き
- ・ 質問と回答
- ・ ドリル

## 6. 評価過程

成績評価には文字（筆記）採点方式を採用します。

### 6.1. 評価形式

- ・ 定期テスト（毎週、毎月）
- ・ 作成学習
- ・ チームワーク
- ・ ロールプレイ
- ・ 面接
- ・ 学習課程の監視
- ・ グループディスカッション

### 6.2. 総括的評価

学生の達成度を評価する重要な部分です。

#### A. 内部（学内）評価

内部評価を行うために、すべての学生の成績・パフォーマンス・行動記録は、担任の教師によって行わなければなりません。内部評価については、以下の表に示すようにさまざまな分野で、合計の評価点数の25%を占めます。

| 順番 | 評価分野             | 点数 |
|----|------------------|----|
| 1. | 参加意欲（出席、授業の参加態度） | 3  |
| 2. | 聴解試験             | 8  |
| 3. | 会話試験             | 8  |
| 4. | 期末試験の点数          | 6  |
|    | 合計               | 25 |

## B. 外部（学外）評価

外部評価は、指定された外部機関によって実施されます。外部評価については、合計の評価点数の75%を占めます。各言語能力分野の点数の割り当ては次のとおりです：

| 順番 | 言語能力分野 | 点数 |
|----|--------|----|
| 1. | 読解     | 25 |
| 2. | 筆記     | 20 |
| 3. | 文法     | 20 |
| 4. | 漢字     | 10 |
|    | 合計     | 75 |

### 6.3. 代替評価

特別要求やその他の能力を持つ学生のために、代替評価が作られて実施することができ、該当する学生の成績評価するために使用されます。



## 6.4 試験仕様表

### A. 内部（学内）評価

| 順番 | 評価分野             | 点数 | 評価のためのガイドライン   |
|----|------------------|----|--|
| 1. | 参加意欲（出席、授業の参加態度） | 3  | 出席率、授業への参加態度、および学生に出された宿題や学習中のパフォーマンスは、担任の教師によって評価されます。                            |
| 2. | 聴解試験             | 8  | 音声機器を使用して、ネイティブスピーカーまたは非ネイティブスピーカーによって話された音声再生します。その上で、学生は音声を聞いて、適切な答えをを行う必要があります。 |
| 3. | 会話試験             | 8  | 会話試験を実施します（各学校で実施できる、ネイティブスピーカーまたは非ネイティブスピーカーによって行います）。                            |
| 4. | 期末試験の点数          | 6  | 各試験の配点は2点とします。   |

### B. 外部（学外）評価

外部評価は筆記試験で行われます。試験の満点は75点で、試験時間は3時間です。特別な配慮が必要な学生には、追加時間を考慮することができます。

試験の読解、筆記、文法、漢字は、以下に基づいて実施されます。

| 読解   | 筆記  | 文法  | 漢字  |
|--|---|---|---|
| 学生の読解能力を評価するために、教科書ではなく他の教材のパラグラフ・会話・物語などを試験のために準備し、その文章に対する質問が出題されます。文章を読んで、学生は適切な答えを解答する必要があります。 | 学生の筆記能力を評価するために、学生のレベルに基づいた、特定のタイトルについて文章を解答させる質問が出題されます。 | 文法は特に重視されます。学生のレベルごとの文法形式に従って、さまざまな質問が出題されます。 | 学生の漢字能力を評価するために、漢字を書いて認識させる質問が出題されます。学生は一つの漢字または複数の漢字を組み合わせた単語で解答する必要があります。 |

グレード 11

| 読解 25 点  | 筆記 20 点   | 文法 20 点   | 漢字 10 点   |
|--|---|---|---|
| 読解の評価は、次の構造に従う。<br>-読解 1<br>質問と回答 10 点<br>-読解 2<br>○×問題 5 点<br>-読解 3<br>質問と回答 10 点 | 筆記の評価は、次の構造に従う。<br>-文章を作る 5 点<br>-文章を翻訳する 5 点<br>-自由記述 10 点 | 文法の評価は、次の構造に従う。<br>-空欄を埋める 5 点<br>-正しい助詞の選択 5 点<br>-正しい答えの選択 5 点<br>-文章を並べ替える 5 点 | 漢字の評価は、次の構造に従う。<br>-漢字をひらがなに変換する 3 点<br>-ひらがなを漢字に変換する 3 点<br>-正しいひらがなと漢字の選択 4 点 |

グレード 12

| 読解 25 点  | 筆記 20 点                                      | 文法 20 点  | 漢字 10 点  |
|--|--|--|--|
| 読解の評価は、次の構造に従う。<br>-読解 1<br>質問と回答 10 点<br>-読解 2<br>○×問題 5 点<br>-読解 3<br>質問と回答 6 点<br>正しい文の選択 4 点 | 筆記の評価は、次の構造に従う。<br>-メール/手紙 8 点<br>-自由記述 12 点 | 文法の評価は、次の構造に従う。<br>-空欄を埋める 8 点<br>-文章を並べ替える 12 点 | 漢字力の評価は、次の構造に従う。<br>-ひらがなを漢字に変換する 5 点<br>-漢字をひらがなに変換する 5 点 |

上記の能力試験は、以下の模範質問でさらに説明します。

## Class 11 Final Examination (Sample Questions)

Time: 3 Hours

Full Marks: 75

Pass Marks: 35

### A. Fill in each blank with an appropriate particles. (1X5= 5)

- (1) <sup>がっこう</sup> 学校は朝<sup>あさ</sup>9時 ( ) <sup>じ</sup>4時までです。
- (2) この本<sup>ほん</sup>に書<sup>か</sup>いてある漢字<sup>かんじ</sup>は何 ( ) <sup>よ</sup>読みますか。
- (3) <sup>どようび</sup>土曜日どこか<sup>の</sup>コーヒーを飲<sup>の</sup>み ( ) <sup>い</sup>行きませんか？
- (4) <sup>かわい</sup>可愛いボールペン<sup>か</sup>ですね。どこ ( ) <sup>か</sup>買ったんですか？
- (5) <sup>がっこう</sup>学校のバス ( ) <sup>ま</sup>間に合<sup>あ</sup>いませんでした。

**B. Read each sentence. Then complete the sentence with the words / particles from the list. (1 X 5= 5)**

(1) おなかが いっぱいで、ご飯を <sup>はん</sup> 半分 ( <sup>はんぶん</sup> ) <sup>た</sup> 食べられなかった。

1. にも                      2. だけ                      3. しか                      4. でも

(2) A 「ラムさんは、もう帰<sup>かえ</sup>ってしまいましたか。」

B 「いえ、机<sup>つくえ</sup>の上にパソコンがおいてある (                      )、まだ帰<sup>かえ</sup>って いないと <sup>おも</sup> 思いますよ。

1. もの                      2. こと                      3. なら                      4. から

(3) A 「合格<sup>ごうかく</sup>おめでとうございます」

B 「ありがとうございます。2回<sup>かいめ</sup>目の試験<sup>しけん</sup>で (                      ) 合格<sup>ごうかく</sup>することができました。

1. やっと                      2. ずっと                      3. きっと                      4. もっと

(4) 私は先月 日本へ来た (                      )、まだ日本人の友<sup>ともだち</sup>達がいません。

1. から                      2. とき                      3. のは                      4. こと

(5) A 「田中<sup>たなか</sup>さんの ぼうしは どれ (                      )、わかりますか。」

B 「ええ。これですよ」

1. も                      2. に                      3. が                      4. か

C. Choose the correct answer.

(1X5= 5)

- (1) 今日は朝あさから【ずっと・ きっと・ もっと】雨あめが降ふっています。
- (2) すみません、漢字かんじを【教おしえて・ 教おしえるようにして・ 教おしえられて】頂いただきませんか。
- (3) 休やすみの日は買ひい物かに行いったり、映えい画がを見みたり【いいって・ かかいて・ して】います。
- (4) 電でん話わ番ばん号ごうを【おおとして ・ 間ま違ちがえて ・ ここわわれて】しましいました。
- (5) 今いままで半はん年とし【かから・ ししか ・ ぐぐらい】日に本べん語きょうを勉べん強きょうしました。

**D. Look at the words and phrases below. Rearrange them to form meaningful sentences.**

**(1X5= 5)**

(1) しゅくだいが \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ いる。

1. 公園を <sup>こうえん</sup>    2.  <sup>おも</sup>  と 思 っ て    3.  <sup>お</sup>  終 っ た ら    4.  <sup>さんぽ</sup>  散 歩 し よ う

(2) 次の会議は <sup>つぎ</sup> <sup>かいぎ</sup> \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ そうだ。

1. 1週間後 <sup>しゅうかんご</sup>    2.  <sup>ひら</sup>  開 け ら れ る    3.  <sup>に</sup>                    4.  <sup>は</sup>

(3) ラムさん「今日は午前<sup>きょう</sup>から雪<sup>ごぜん</sup>がふり<sup>ゆき</sup>そうですよ」

シタさん「えっ。そうなんですか。今まで<sup>は</sup>晴れていたのに \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_。」

1. 持<sup>も</sup>たないで    2.  来  て    3.  か  さ  を    4.  し  ま  い  ま  し  た

(4) カレンダーに \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ あります。

1. 今 週  の <sup>こんしゅう</sup>    2.  か  い  て    3.  が                    4.  よ  て  い

(5) 日本<sup>にほん</sup>の 車<sup>くるま</sup> は \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ います。

1.  い  ろ  い  ろ  な    2.  輸  出  さ  れ  て <sup>ゆしゅつ</sup>    3.  へ                    4.  国



**F. Read the following paragraphs and answer the question, below: (2X5=10)**

にほんじん ふろ だいす まいにち ゆ はい しゅうかん も ひと おお  
日本人はお風呂が大好きで、毎日お湯に入る習慣を持っている人も多いよう  
もんだい ふろ  
す。そこで問題になるのが、かぜをひいたときに、お風呂にはいるのかどうかとい  
たか ねつ とき からだ よわ ふろ  
ことです。もちろん高い熱がある時には体が弱くなっているので、お風呂はやめ  
ねつ さ むかし  
たほうがいいですが、熱がだいぶ下がったときはどうしたらいいでしょうか。昔  
すこ ねつ はい よい ひと おお  
は、少しでも熱があったら、入らないほうが良いという人が多かったようですが、  
わたし ふろ はい きも よ かんが  
私は、お風呂に入ったほうが気持ちもよくなって良いと考えています。

1. 日本は何が好きですか。  
なに す
2. かぜをひいているときにお風呂に入ることについて、この人は何と言っていますか。  
ふろ なん い
3. どんなとき体が弱くなりますか。  
からだ よわ
4. 日本人はどんな習慣をもっていますか。  
にほんじん しゅうかん
5. 昔はどんな考え方でしたか。  
むかし かんが かた



**G. Read the following paragraphs and answer the question.**

わたし にほん しょうがつ けいけん  
私 ははじめて日本の正月を経験した。

あさ たなか ちか  
12月31日は、まず、朝9時に田中さんと近くのスーパーに行った。何も買わなかったが、スーパーでおおぜいの人  
しょうくりょうひん しょうがつ とくべつ りょうり  
がいつもよりたくさんの食料品を買っていることを見た。正月に食べる特別な料理を作るからだ。その  
とくべつ りょうり しゅうかん  
特別な料理を12月31日までに作って、1月1日から3日までずっと食べる習慣があるからだ。でも今では1月  
たなか ともだち じんじゃ で  
1日からレストランで食事する人もいと田中さんが言っていました。1月1日は、友達と神社へ出かけた。びっくり  
じんじゃ なら  
したのには、神社に行こうとする人がたくさんいて、ずっと並んでいたことだ。

**(A) Write O for the true sentences and X for the false sentences. (1X5=5)**

- (1) あさ 朝スーパーに行ってたくさん買い物をしました。 ( )
- (2) しょうがつ とくべつ りょうり つく ひとびと しょうくりょうひん  
スーパーで正月の特別な料理を作るから人々は食料品を買っていた。 ( )
- (3) とくべつ りょうり  
特別な料理は1月3日まで作っています。 ( )
- (4) じんじゃ  
1月1日に神社へ行った。 ( )
- (5) さいきん 最近  
最近一日からレストランで食べる人も増えてきた。 ( )

H. Read the following notice and answer the question, below: (2X5=10)

Green City アパートに住むみなさまへ

電気の安全チェックの連絡

明日、電気の安全チェックをします。朝9時から11時まで、電気の止まる場所があります。エレベーターは動きません。アパートの1階入口のドアも電気が来ませんから、開けたり閉めたりできません。チェックのあいだ、ドアは開けておきます。部屋の電気は止まりませんから、パソコン、テレビ、Wi-Fiは使うことができます。部屋の天気は、来月にチェックすることになっています。

- (1) どこに住んでいる人のためのお知らせですか。
- (2) これはどんなお知らせですか。
- (3) 電気を止まっても何をすることが出来ますか。
- (4) 部屋の電気安全チェックはいつですか。
- (5) 何時から何時までエレベーターを使うことが出来ませんか。

**(I) Make the sentence about following word: (1X5=5)**

<sup>ともだち</sup>  
(1) 友達 =

(2) 学校 =

(3) 国 =

<sup>ゆめ</sup>  
(4) 夢 =

<sup>しゅみ</sup>  
(5) 趣味 =

**(J) Translate the following Sentences into Japanese or in English Language. (1X5=5)**

(1) I am thinking about to stay in Japan.

(2) We are planning to have a meeting next Friday.

(3) 電気がついて います。

(4) せつめい の とおりに して ください。

(5) にほんご が はなせます。

**(K) Write an essay on the following only one topic in 150 words. (10)**

(1) わたし かぞく  
私 の家族 (My family)

(2) わたし ゆめ  
私 の夢 (My dream)

(3) ゆうめい まつ  
ネパールの有名なお祭り (Famous festival of Nepal)

**The End**

## Class 12 Final Examination (Sample Questions)

Time: 3 hours

Full marks: 75

Pass marks: 35

### 1 Put appropriate Particle in to following sentences (1X8=8)

1 わたし ぶちょう ( ) しごと たの 仕事を頼まりました。

2 すみませんが、ようじ 用事がある ( ) さき しつれい お先に失礼します。

3 わたし はな ( ) みず 水をやります。

4 できるだけ た もの のこ 食べ物を残さない ( ) ください。

5 せんせい 先生はもうかえ お帰り ( ) になりました。

6 けさてれび にゅ ず じこ 今朝テレビのニュースで事故 ( ) ばす と 止まったと言っていました。

7 いなか まち 田舎と町とどちら ( ) す 住みやすいですか。

8 わたくしは らい さみる ( ) もう 申します。

2 Please correctly arrange the following words and make correct sentences. (2x6=12)

1 田中： ラムさん。<sup>せんげつ</sup> 先月の<sup>かいが</sup> 海外旅行<sup>りょこう</sup> どうでしたか。

ラム： いろいろな \_\_\_\_\_ <sup>たの</sup> 楽しかった

田中： ええそうですか。

1に 2とても 3行って 4ところ

2 A: <sup>あしたたいせつ</sup> 明日大切な会議<sup>かいぎ</sup>があるから、<sup>はや</sup> 早く \_\_\_\_\_ してください。

B: はい。わかりました。

1の <sup>かいぎ</sup> 2会議 <sup>じゅんび</sup> 3準備 4ために

3 A: どう <sup>したん</sup> したんですか。

B: <sup>きのう</sup> 昨日 <sup>ぱーてい</sup> パーティーで \_\_\_\_\_ <sup>いた</sup> 痛いんです。

A: それは<sup>たいへん</sup> 大変<sup>だいじ</sup>ですね。お大事<sup>だいじ</sup>に。

1が 2 すぎで 3頭 <sup>の</sup> 4飲み

4 A: <sup>がっこう</sup> 学校<sup>がっこう</sup>はどうですか。

B: <sup>せんしゅう</sup> 先週<sup>じゅぎょう</sup>から授業<sup>じゅぎょう</sup> \_\_\_\_\_ よく わかりません。

A: そうですか。<sup>がんば</sup> 頑張<sup>がんば</sup>ってください。

1なので 2が 3ばかり <sup>はじ</sup> 4始まった

5 ラム： 田中さんこれから<sup>しょくじ</sup> 食事<sup>しょくじ</sup>にいかがですか。

田中： すみません。ちょうど \_\_\_\_\_ ですよ。

1 <sup>た</sup>食べた      2 なん      3 ところ      4 今

6 <sup>むすこ</sup> <sup>きのうたいいん</sup> 息子が昨日退院した \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ が できません。

1 また      2 ばかり      3 <sup>しごと</sup>仕事      4 なので

3 Please, write the following Hiragana to Kanji. (1x5=5)

1. しょうひん
2. てんいん
3. せいかつ
4. ふべん
5. きんし

4 Please, write the following Kanji to Hiragana. (1x5=5)

1. 電気
2. 活動
3. 映画
4. 心配
5. 全部

5 Read the following sentence and select a correct answers. (2x2=4)

1 <sup>わたし</sup> <sup>はじ</sup> <sup>にほん</sup> <sup>き</sup> 私は初めて日本に来ました。

- A. <sup>わたし</sup> <sup>にほん</sup> <sup>き</sup> 私は日本に来たことはありません。
- B. <sup>わたし</sup> <sup>にほん</sup> <sup>い</sup> 私は日本に行きたいです。
- C. <sup>わたし</sup> <sup>にほん</sup> <sup>き</sup> 私は日本に来たことがあります。
- D. <sup>わたし</sup> <sup>らいねん</sup> <sup>にほん</sup> <sup>き</sup> 私は来年日本に来ます。

2 ゆっくり <sup>はな</sup> <sup>くだ</sup> 話して下さい。

- A. <sup>おお</sup> <sup>こえ</sup> <sup>はな</sup> <sup>くだ</sup> 大きな声で話さないで下さい。
- B. <sup>しず</sup> <sup>はな</sup> <sup>くだ</sup> 静かに話して下さい。
- C. <sup>はな</sup> <sup>くだ</sup> もっと話して下さい。
- D. <sup>はな</sup> はやく話さないで下さい。

6 Read the following sentence and answer the question.

わたし <sup>ことし</sup> <sup>がつ</sup> <sup>だいがく</sup> <sup>にゅうがくしけん</sup> <sup>う</sup> <sup>よてい</sup> <sup>きょねん</sup> <sup>う</sup> <sup>さんねん</sup>  
私は今年の1月に大学の入学試験を受ける予定があります。去年も受けたんですが残念ながら

<sup>ふごうかく</sup> <sup>ことし</sup> <sup>だいがくせい</sup> <sup>しけん</sup> <sup>べんきょう</sup>  
不合格になりました。今年はぜったいに大学生になりたいです。そろそろ試験ですが勉強をしたくないで

<sup>ごうかく</sup> <sup>ことし</sup> <sup>ごうかく</sup> <sup>かみさま</sup> <sup>よろ</sup> <sup>ねが</sup> <sup>いた</sup>  
すどうしたら合格できるかな！今年はぜひ合格できるように神様どうぞ宜しくお願い致します。

Write ○ for the true sentences and × for the false sentences. (1x5=5)

- 1 <sup>ことし</sup> <sup>にゅうがくしけん</sup> <sup>う</sup> <sup>かいめ</sup> 今年で入学試験を受けるのが2回目になります。 ( )
- 2 <sup>ことし</sup> <sup>にゅうがくしけん</sup> <sup>ふごうかく</sup> 今年の入学試験にもう不合格になりました。 ( )
- 3 <sup>ことし</sup> <sup>にゅうがくしけん</sup> <sup>う</sup> <sup>よてい</sup> 今年の入学試験受ける予定がありません。 ( )
- 4 <sup>いましけん</sup> <sup>いっしょうけんめい</sup> <sup>べんきょう</sup> 今試験のために一生懸命勉強しています。 ( )
- 5 <sup>きょねん</sup> <sup>にゅうがくしけん</sup> <sup>う</sup> 去年も入学試験受けたんです。 ( )



7 Read the following sentence and answer the question.

(2x5=10)

わたし まえ ちい かいしゃ はたら まいにちあさ ばんおそ じかん いっしょうけんめいはたら  
私はずっと前から小さな会社で働いています、毎日朝から晩遅い時間まで一生懸命働いています。でもまだ  
きゅうりょう やす すく ことし なつ けっこん かいがいりょこう い けっこん せいかつ  
給料が安くて少ないです。今年、夏に結婚してから海外旅行へ行きたいです。結婚したらいい生活ができると  
おも きゅうりょう やす かのじょ ぼろぼ ず さいきんちょきん ほ い もの か  
思うですが給料が安くすぎて彼女にポロポーズできていません。最近貯金のために欲しいや要らない物もを買わな  
いようにしています、わたし いま せいかつ たいへん きゅうりょう ほ  
私の今の生活が大変です。できればもっとたくさんの給料が欲しいです。

- いま かいしゃ はたら  
1 今どんな会社で働いていますか？
- いま きゅうりょう  
2 今の給料はどうですか？
- ことし なつ なに  
3 今年の夏に何をしたいですか？
- いま せいかつ  
4 今の生活はどうですか？
- いまなん ほ  
5 今何が欲しいですか？

8 Read the following sentence and answer the question. (2x3=6)

昔、日本人が大人も子供もみんな毎日着物を着て生活していた。しかし、着物を着るのは難しいし、時間もかかって、大変だ。また歩くときや、お仕事をするときも、着物は不便なのでみんな洋服を着るようになった。洋服は着るのが簡単だ。それに日本人の生活も西洋化したのだ、着物より洋服のほうが生活に合う。今では着物は結婚式、葬式、成人式、正月など特別な機会にだけ着る物になってしまった。

1 なぜ着物が不便ですか？

2 今の日本人の生活は西洋化したのはなぜですか？

3 今では着物はどんなときに着るのです？

9 Write a mail to friend about your present days. (8 MARKS)

10 Write an essay from following topic, must be minimum 150 words. (12 MARKS)

A ABOUT YOUR COUNTRY

B A FAMOUS FESTIVAL OF YOUR COUNTRY

C YOUR FAVORITE SPORT

THE END

## 7. 備考

### 7.1. 教師の資格

日本語教育を行う担任の教師は、以下の資格を持っている必要があります。

- ・ 流暢な日本語を話すことができる。
- ・ +2（高等学校）卒業、またはそれ以上の学歴を持つ。
- ・ 説明をするために日本語以外の言語を話すことができる。
- ・ 日本語能力試験（JLPT）の N4、N3、N2、N1 のいずれかの資格を持つ。
- ・ 教師の最低レベルは、指導する日本語レベルより 1 レベル以上、上のレベル資格を持っている必要がある。  
例：グレード 11 ・ グレード 12 の教師は JLPT N3 レベル以上

### 7.2. 授業規模と条件

- ・ 授業を開始するには、最低人数は 5 人、最大人数は 20～25 人である必要があります。
- ・ グレード 11 からの日本語授業への参加を希望する学生は、JLPT N5 の資格証明書を持っている必要があります。  
この資格証明書がないと、学生はグレード 11 の授業を受講する資格がありません。

### アドバイス：

- ・ 教師は、初期レベルの指導方法について学び、少なくとも 2 ～ 3 か月の教師トレーニングを強制的に受けなければなりません。
- ・ 郊外の教師は、少なくとも 2 か月（100 時間）のオンライン授業で教師トレーニングを受ける必要があります。
- ・ 教師は、効果的な学習を行うために毎日の報告記録を作成する必要があります。
- ・ 教師は、さまざまな指導方法と学習方法を学び、実践する必要があります。